



星と稲

伊米ヶ崎小学校 学校だより

<http://uonuma-school.com/school.com/ed03>

NO 1 1

発行日 令和2年1月20日

発行者 校長 名塚高明

【星と稲の訓】 朝に星と載せて出て 勢い励みで 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展と期さん

今年もよろしくお願ひします

2020年、令和2年が始まりました。干支で言いうと「庚子」（かのえ・ね）です。「子」には、はじまりという意味が、「庚」には力強さという意味があります。ですので「庚子」の年は大きな変化を生じさせる年であり、新しく物事を始めるのによい年、新しい運気のサイクルの最初に当たる年だと言われています。

学校教育においては、基盤となる新学習指導要領の本格実施の年に当たり、まさに変化の年です。引き続き保護者、地域の皆様のご協力、ご支援をいただき教育活動を進めて行きたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひいたします。



三学期始業式の校長講話で、箱根駅伝で活躍した燕市出身の岸本選手と帝京長岡高校サッカー部の話をしました。雪のハンデのある新潟県の若者の活躍は我々に勇気と感動を与えてくれました。その中で、目標をもって取り組むことの大切さについて話をしました。帝京長岡高校サッカー部は目標に「日本一」を掲げ、自分たちを鼓舞し、練習を重ねて県内初のベスト4に躍進しました。最初から全国大会出場程度の目標であれば、この結果には結びつかなかったことでしょう。日本一という目標が練習に力を与え、個々の力を伸ばし、チームワークを強固にしたことは容易に想像されます。子どもたちには、新年に際し、自分を高めることのできる目標を設定し、2020年に輝いて欲しいと思ひます。

気持ちを整えて… ～1/9 書き初め大会～

年始恒例の校内書き初め大会が行われました。1, 2年生は教室で硬筆を、3年生以上は体育館で毛筆を行いました。真白い用紙に、気持ちを整え、集中して鮮やかな黒字を置いていく…。身も心も引き締まります。新年にふさわしい行事であり、日本の誇らしい伝統・文化であると思ひます。

子どもたちは、筆先まで気持ちを込め集中して取り組んでいました。これまで地域の小林先生から教えていただいたこと、冬休みに家で練習したことを生かし、どの学年も勢いのある字を書いていました。冬休み中、お家の皆様からのご指導もあつたと思ひます。ありがとうございました。

校内書き初め展は24日（金）まで開催しております。各教室廊下に展示してありますので、ぜひご覧になりに来てください。22日（水）の学習参観の際にでも、どうぞお越しください。



充実した3学期に！ ～1/15全校朝会&生活朝会～

1月15日、全校朝会があり、各学年の代表が3学期のめあてを発表しました。「新1年生のお手本になる2年生になりたいです。」「4月からは6年生になるので、誰にでも優しく声をかけ、伊米ヶ崎小学校を引っ張っていけるようにがんばります。」等、今学期がんばることとともに来年度を見据えためあてもあり、頼もしく思いました。

1月は「行き」、2月は「逃げ」、3月は「去る」と言われるように、3学期は油断しているとあっという間に過ぎ去ってしまう短い学期です。計画的に個々の子どもたちの成長を確かめ、次年度につなげていくように指導していきます。



今月の生活目標は「やさしい言葉づかいをしよう」です。「言葉は立居を表す」とも言われます。優しく、心が温かな人は言葉づかいもきれいです。反対に余裕がなく心が不安定な時は言葉も悪くなりがちです。適切な言葉遣いは、人間関係を円滑にする社会スキルであり、成長につながります。

伊米小の子どもたちは、「ありがとうございました。」「お願いします。」「～してください。」「といった感謝等を表す言葉を、自然に言うことができます。普段から人を傷つけたり不快にしたりする言葉（チクチク言葉）を多く耳にすることはありません。しかし、時折、言葉による子ども間のトラブルはあります。生活指導主任がそうした場合どうすればよいか問うたところ、子どもたちは「がまんする。」「深呼吸する。」等、答えていました。少し時間を置くことは怒りを鎮める対処法の基本であり、子どもなりによく考えていることに感心しました。

学校では、子どもたちには今月のめあてに合わせ、感情をコントロールし、やさしい言葉づかいができるように、指導していきたいと思えます。ご家庭でもご指導よろしくお願ひいたします。

身体を動かすことは楽しいね！ ～1/14 ダンス教室～

1月14日（火）に魚沼市小出郷文化会館事業・学校訪問プログラムのダンス教室が2時間目に低学年、3時間目に中学年、4時間目に高学年を対象として行われました。講師は文化会館でスクールを開講している「ラブダンスムーブメント」所属の篠田先生です。ダンス曲は全校同じ♪パーティーラップダンス♪です。上学年になるにつれて、難度の高い動きになっていき、それぞれ習ったパートを合わせると一曲のダンスが完成します。なかなか難しいダンスですが、子どもたちは、笑顔で楽しく踊っていました。篠田先生からは「伊米ヶ崎の子どもたちは元気で一生懸命ですごくいいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

